

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ミライフルキッズデイサービス八戸中居林		公表日			令和8年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・送迎車内の消毒作業等と活動を分けて活動を促している。 ・中学生が多く、体も大きくなっているため、少し狭く感じるが、職員室スペースを利用するなど工夫している。 ・中学部が多い事もあり、みんな成長してきていることでスペース的には決して適切とは思わないが、外での活動や順番に使用するなど工夫している。 ・規程通りのスペースにはなっているが、運動を目的とする行事は外出をして支援している。	・個別対応、クールダウンできる場所が確保出来ない。 ・中学生が増えたことから少し狭い。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	・適切である。 ・利用児童の様子を見ながら適切な配置が出来ている。	・男性スタッフの補充が必要である。 ・利用児童の9割が男児に対して支援職員の男性が1名。 将来的な展望を見据えた対応が急務であろうと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・視覚的にも伝えられるよう、それぞれの特性に合わせ、文字、イラスト、実物で提示している。 ・完全なバリアフリー化はしていない。（対象児なし） ・狭いながらもわかりやすく構造化されている。 ・休日利用時は、施設外での活動を取り入れて対応している。	・施設内の空間スペースは利用児童に対して狭い事は否めない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	・集団活動で快適に動くことは難しいが、ゲーム等の内容やスペース配置を工夫している。 ・家庭にいるような空間になっている。 ・毎日の清掃を子ども達と一緒にに行い、心地よく過ごせる環境づくりを心掛けている。	・中学生が多く、体も大きくなってきたため心地良いかと言われると微妙である。 ・子ども達の活動に合わせた空間とは言えないと思うが、現状の建物ではこれ以上望めない。 ・クールダウンできる部屋、スペース等が少ないのが現状。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・代部屋として面談室は時折使用している。 ・個別対応の空間は少ないが個別対応はできる。 ・個室はないが、面談室や職員室をクールダウンや個別対応の場所として使えるようにしている。	・面談室を個別対応として利用しているが、十分ではない。数名、個別対応の必要性が出てくると現状厳しい。 ・利用児童のクールダウンする部屋が必要。		

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時、必ず子どもの行動や言動に対する振り返りを行っている。自分自身の支援、子どもへの関わり方に対する振り返りも行っている。 ・朝礼や振り返り会議等で、支援や業務の改善点について話し合い、その後の状況、改善された、新たな問題などについて全員で取り組んでいる。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、保護者様と一緒に行事の後には、必ずアンケートを、ご記入頂き、それに対して話し合いを設けている。課題となる案件に関しては、どうすべきか、みんなで話し合っている。 ・設けている。内容を共有している。 ・保護者の評価表の結果や意見を確認し、対応できるところは改善している。そのように努力している。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の面談によって話を聞く機会を設けている。 ・振り返り会議、業務会議など意見を話し合う機会を設けている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・ここは必ず課題としてあげられる。第三者による外部評価は実施していない。風通しの良い職場環境ということで必要性は感じている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は日程調整、経費の面で調整が厳しいため、事業所内での研修を充実させている。プチ研修といって、スタッフ主導の研修も実施している。 ・月1で研修している。 ・内部研修やプチ研修の開催の他、外部での研修受講も行っている。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの意見交換の上、作成し公表している。 ・ホームページで公表している。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のこどもに対して、可能な範囲でアセスメントを実施している。主観的ではなく客観的な視点を大事にしている。 ・保護者面談でニーズや課題を取り入れていくのはもちろんだが、日頃、子ども達からの希望や要求に耳を傾け、サービス計画に反映している。 	

適切な支援	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で計画作成における総合的な視点や、課題点、芽生え反応が見られているか。達成されている部分に関して共有し、将来にどう繋げていくか話し合いを設けている。 ・全員で支援会議に参加し、それぞれからの視点での話をし、子どもにとって最善だと思われる内容になるよう検討を行っている。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の内容は、全職員で共有し同じ方向性で支援を実施している。 ・全職員で共有し、誰でも同じ支援ができるように意識しながら行っている。 	・その日の活動内容を共有し、どのように支援をするか話し合いをしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにおいてS-M社会生活能力検査を参考として行っている。 ・S-Mなどを用いたアセスメントを行っている。中学生には就労に向けた取り組みとして就労の評価基準表などを用いてアセスメントを行っている。 	・標準化されたツールだけではなく、日々の行動観察を十分に行い、どのような支援が必要かを確認する必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域という総合的な視点から目標設定をし支援内容についても具体的な内容として設定している。 ・それぞれに必要な内容が設定、明記されている。 ・家族支援の重要性を感じています。子どもはもちろんだが、毎日接しているお父さん、お母さん、そしてご兄弟のケアも含めた活動を考えている。 	・登校が難しい児童生徒が増加している中、我々も放課後等デイサービスとして何が出来るのか。サポートすべき部分はどこなのか、学ぶ機会が必要だと感じている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで意見を出し合って決めている。 ・みんなで話し合いながら進めている。 	・個人で進めるのではなく、チームで立案し実行できるように今後していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないよう運動・感覚・ビジョントレーニング・SSTを取り入れた活動プログラムを設定している。 ・学年別、他学年合同の集団活動、個別活動を交互に組み入れながら対応している。 	・年齢別のプログラムの必要性を感じている。

の 提 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・理想通りに実施するのは難しいが、ベストは尽くしていると思う。 ・個別、集団活動は日々工夫をし計画を立てて支援している。 ・行事や活動内容を話し合い、新しい試みをしたりしながら出来ている。 	・継続して個別活動、集団活動を組み合わせながら支援を実施していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時間に、その日の支援内容、活動内容について確認している。ここで、その日の役割分担の発表もしている。 ・朝礼、振り返り会議の時間を設けて支援内容などについて確認を行っている。 ・朝礼の時間を上手く活用しながら行っている。その時間に前日の子どもの様子を振り返り、今日は、違った視点で対応してみよう…とか、新たな活動を取り入れて様子を見るなど確認しながら行っている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後は、雑談程度で行っており、翌日の朝礼時に振り返りを行っている。 ・振り返りは朝礼時に行っているが、支援終了後は、その日、気づいた点などを共有したり、次の日の予定の確認を行っている。 ・送迎業務後に振り返りを話し合う事もあるが、次の日の朝の振り返り会議で話し合い共有している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域の目標に即した課題提示。活動に対し支援をしたことで、どのぐらいの達成度があるか振り返りをするため記録している。 	・利用時の様子を主担当の記録、全体記録として広義、狭義からの検証・改善に努めていく必要を感じている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・6か月、課題のある利用児童に関しては3ヶ月で見直しを実施している。 ・適切な見直しを行っている。 	・必ず6か月に1回は実施している。気になる子どもに関しては、もう少し短いスパンでの見直しが必要と思う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・『自立生活と日常生活の充実のための活動』『余暇の提供』『創作活動』『地域交流の機会の提供』を組み合わせながら支援を行っていると思う。 ・年齢に即した活動、異年齢合同で行う活動を組み合わせている。 	・行えていると思うが、改めて「4つの基本活動」とは何ぞやという所から、見直しをしたい。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・課題活動や就労プログラム（お仕事）など、自己決定（選択）が出来るよう工夫している。 ・個別課題の中で選択肢を与えて、どの活動をしたいか利用者に決めて頂いている。 ・個別活動の際、課題として行いたいことやタイマーの必要性が支援者側としてはあると思うが、そこでも利用児童の意見を聞きながら実施している。 ・おやつ選択、個別課題の選択（状況による）遊び（余暇）の選択を促すようにしている。 ・選択肢を用意したり、提案したりして子どもと話し合う機会を設けている。 	・子ども達自身で、活動内容を選択して行うことも楽しいかと思う。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員他 ・児童発達支援管理責任者及び担当者が参画するようにしている。 	・今は、管理者、児童発達支援管理責任者が参画している。可能であれば主担当の現場スタッフにも参画する機会があればと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・連携体制はあるものの、実践できていないのが実情。 ・学校や関係機関とのより細やかな連携が必要と思われる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・主に保護者を通して行っている。直接連絡をとり情報の共有はしている。学校の先生が見学に来てくれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校のスケジュールを把握しているが、下校時間の変更の連絡がない状態で定時に行くことが出来ず、子どもを待たせてしまうことがある。 ・学校や関係機関とのより綿密な連携が必要と思われる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前に利用していた保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所への見学を行い情報を共有している。 ・小中学校を卒業した、お子様は、出身園に挨拶をする機会を設けている。 ・見学を行い情報共有をお願いしている。（スムーズに移行できるように） 	・今後、もっと連携が必要と思われる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・ご家族様からの同意を得て相談支援専門員を通して情報提供を行っている。	・今後、もっと連携が必要と思われる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	・利用児童の相談支援専門員を通して、課題とされる部分を共有し、支援に関する助言を頂くようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の助言が必要な場合もあると思う。 ・出来ていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブや児童館は、かなりの大人数で、対応スタッフが少ないので、挨拶に何うぐらいにしている。 ・近隣の高校生が来所して製作活動と一緒に来てくれたり、読み聞かせをしてくれるという交流があったことは良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が合わないこともあり、なかなか難しい。 ・児童クラブや児童館、地域の他の子どもとの交流が検討したいが、時間、人員に難しいところがある。 ・時間や人数、場所の問題がクリアならず交流出来ていない。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	・(自立支援)協議会等へ積極的に参加できるように検討していきたい。	・参加できていないため、どうしていくべきか。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡ノートや送迎時に、子どもの発達の状況や出来事等について話をしている。 ・主として連絡帳を通してだが、重要性のある内容に関しては、直接取り合っている。	・保護者面談、保護者参観、気軽に来て頂けるようにするためには、どうすべきか昨年に引き続き検討課題である。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・保護者会を開催し、情報共有の場を設けている。 ・ペアレントトレーニングは出来ていないが、家族が参加できる研修会(勉強会)などを行っている。	・家族参加の研修はどうすべきか。家族のための情報源はどこにあるのかを模索する。 ・なかなか出来ていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時には、もちろんだが報酬改定等に伴い変更になった。その都度、文書通知にて説明している。 ・変更はあった際には、必ず通知などを通して説明を行っている。	・引き続き、契約時に行うが、変更になった場合にも説明できるようにする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者はもちろんだが、子ども達からの要望や意見を話し合う機会を設けている。(中学生会議など) ・意見を聞いて作成している。 ・保護者面談を行っている。	・保護者面談や、評価において確認をしている。自分の意見を言えない児童こそ、色々な思いや考えがある。その気持ちや意見を引き出させるためのアクションが必要。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・その都度、同意を得ている。	・対面、書面、難しいご家族は電話での説明を行い同意を得るようにする。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・随時行っている。 ・電話や連絡帳を通じて、悩みや要望についてお話があった時には、真摯に受け止め、助言等を行っている。対面での必要性がある場合は、来所頂き、お話が出来る場を設定している。	・お話し下さる、ご家族はもちろんだが、なかなか悩みや相談が出来ない、ご家族もいらっしゃる。そういう、ご家族に対するサポートについて。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・今年の夏休みは保護者、ご兄弟も参加のボウリング大会が開催できた。保護者からの要望、意見から出された企画で上手く実施出来たことが良かった。	・上手く活用出来ていなかったため単純に談笑しながら、子どものこと、ご家庭のことについて話をする場を設けたいと考えているが、なかなか出来ずにいた。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情解決委員会を設置している。 ・即座に職員間で共有し、改善策を話し合う。本部へも報告し重篤な内容時は行政へも報告する。 ・苦情となるケースがあった際、必ず関係機関へも報告を行っている。	・弊所で想定される苦情の事例、あるいは参考となる事例を提示して話し合う場を設ける。対応時のスピードは必要であることを全職員で共有する。これに関しては常時課題として周知すべきこととしている。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ミライフルキッズ通信や行事等の手紙、研修の案内など保護者に向けて発信している。また施設外活動の様子、支援の内容について写真も含め発信している。 ・SNSに抵抗を示している保護者様もいるため行っていない。その代わり、ミライフル通信として1か月の活動を手紙で保護者に通知している。	・SNSに抵抗を示している保護者様もいるため行っていない。会社全体では、行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報になる資料はシュレッターにかけている。 ・日々の業務の中で十分に留意している。 ・個人情報の保護に対するマニュアルを作成し、職員で共有している。	・コンプライアンスについて話し合う必要がある。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・実物、イラスト、写真、文字とそれぞれの特性に合わせたツールを使用してコミュニケーションを図っている。	・伝え方によって受け取り方、捉え方に違いが出てくこと。同じ伝え方でも人によって受け取り方が違うこと。改めて伝え方の重要性について話し合いをしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・場所が狭いので招待することはしていないが、地域（会社）などの行事と一緒に参加させて頂いている。 ・地域の方との交流やコミュニティセンターの清掃活動などに取り組んでいる。	・事業所と無関係な住民までは招待していない気がする。 ・スペース的に難しいため実施出来ていない。 ・事業所の行事に地域住民を招待する機会はなかなかない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・毎月、避難訓練を通し行っている。 ・マニュアルはもちろん、毎月訓練を実施している。 ・今年は子ども参加で通報、避難訓練、消火訓練。そして不審者対応の訓練が出来た。	・義務化されたことは確実の行うこと。 ・安全計画に基づきながら、全ての安全面を考慮して、地震、火災はもちろんだが、その他の内水対策、停電時の対応等についてしっかり意識して取り組むこと。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎月非常災害の発生に備えて訓練を実施している。 ・BCPを策定し、定期的な訓練をしながら見直ししている。	・義務化されたこともあり、会社全体で研修や訓練の日を決め実行していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・薬情のコピー保管にご協力頂いている。 ・医師からの薬の説明が書いてあるものを持ってきて頂いている。 ・子どもの情報を全スタッフで共有。服薬の変更があった際には必ず薬情を頂いている。 ・服薬やてんかん発作の児童は確認している。	・日頃の服薬は確認しているが予防接種については確認していない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	・おやつの際は確認している。 ・指示書など書類を持参頂いている。	・対象とされる児童がいないが、食事アレルギーは年齢とともに発症する子どももいるため意識して対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・毎月、避難訓練を実施。その他、不審者対応、送迎時の対応等についても支援している。	・作成して終了とならないようにしたい。 ・万全とは言えないため、今後、研修訓練の徹底をしていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・連絡帳やミライフルキッズ通信を通してお知らせしている。 ・安全計画に関しては、ご家族へも通知している。	・安全確保に対する意識を高く持ち、家族等との連携をどのようにしていくべきかを考える。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内容について、事業所内で共有し再発防止に向けての検討を、その都度行っている。 ・「ヒヤリ」としたことは記入し、共有して対策を考えている。 ・些細なことでも、ヒヤリハット事例となりうることは、記録し共有し、どうすべきかを朝礼後、振り返りで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット職員間で共有し再発防止に向けて話し合いをしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待がおこらないよう虐待防止の研修を職員間で行っている。 ・研修は日々行っている。 ・会社全体での研修及び事業所としては業務会議を通して実施している。 ・虐待防止委委員会を設置し、虐待についての研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形骸化しないようにしたい。 ・いつも同じような研修内容となるため、虐待を起きるメカニズム、根本的なことを考えていきたい。 ・誰もが、虐待をしてしまう可能性があることを意識し、心理的な側面も考慮できればと思う。 ・職員のメンタルケアの必要性もあることを課題点として今後考えていくこと。 ・外部講師を招いた研修も必要と考える。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・同意書を用い説明し、了解を得ている。 ・保護者には事前に十分に説明し、了解を得ている。 ・身体拘束については保護者に書面で署名、捺印を頂いている。（実際、身体拘束は実施していない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の安全補助行動と身体拘束について確認しながら対応する。